

2025年度 尾鷲市沿岸に来遊するイセエビ プエルルス幼生および稚エビ採捕調査報告書

2025年11月

尾鷲市水産農林課

方法

昨年度と同様、コレクター（改良C型）を設置し、週1回の頻度で調査を行い、2025年7月2日から11月5日まで、合計19回の調査を行った。設置場所についてはこれまでと同様とし、早田漁港は堤防の灯台付近に設置し、三木浦漁港は港奥の船溜まりに設置した（図3、5）。いずれも干潮時に干出しない深さに岸壁に吊り下げた。

調査の手順は、 $0.75\text{ m} \times 0.75\text{ m}$ の塩ビパイプ製方形枠にネットを取り付けた落としダモで下からコレクターを掬いながら引き上げ（図1）、パンに海水を張り、その上でコレクターを強く振って、付着している生物を脱落させた。パンに脱落した生物を海水ごと1mm目合いのザルで濾し、白色のバットに移して画像に記録したのち（図2）、すみやかに放流した。



図1 採集風景



図2 採集されたプエルルス（赤丸）

結果と考察

2025年における早田浦における採捕数を図4および表1、三木浦における採捕数を図6および表2に示した。イセエビのプエルルス幼生は早田で1個体、三木浦で4個体であった。稚エビは早田で7個体、三木浦で4個体であった。

早田浦における年別採捕数を図7、三木浦における年別採捕数を図8に示した。早田においては、2021年はプエルルスと稚エビで合計12個体、2022年は合計6個体、2023年は合計8個体、2024年は合計2個体、2025年は合計8個体の採捕であった。三木浦においては、2021年は合計17個体、2022年は合計5個体、2023年は合計2個体、2024年は合計2個体、2025年は合計8個体の採捕であった。

今後も調査を継続することで、プエルルス及び稚エビの採捕数と水温、藻場などの環境条件、市場の水揚げ量等との解析に必要な知見の蓄積を行う。

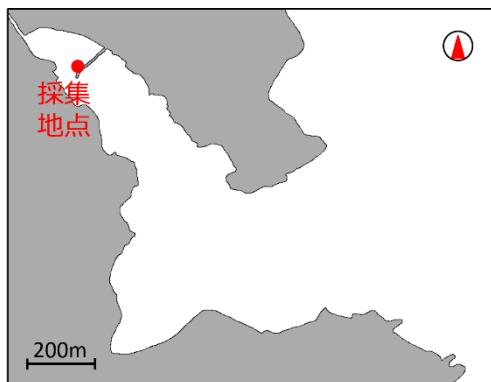


図3 早田浦における採集地点

早田

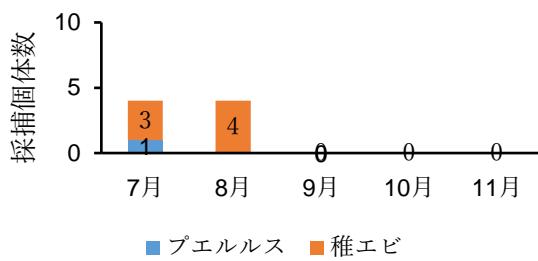


図4 早田浦における月別採捕数

表1 早田浦における日別の採集数

7月			8月			9月			10月			11月		
日	プエルルス	稚エビ	日	プエルルス	稚エビ	日	プエルルス	稚エビ	日	プエルルス	稚エビ	日	プエルルス	稚エビ
2	0	1	6	0	3	3	0	0	1	0	0	5	0	0
9	0	0	12	0	1	10	0	0	8	0	0			
16	0	1	20	0	0	17	0	0	14	0	0			
23	1	1	27	0	0	24	0	0	22	0	0			
31									29	0	0			
計	1	3		0	4		0	0		0	0		0	0

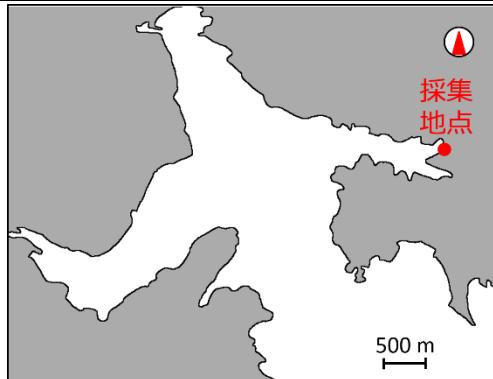


図5 三木浦における採集地点

三木浦

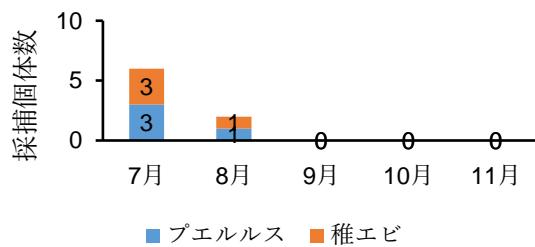


図6 三木浦における月別採捕数

表2 三木浦における日別の採集数

7月			8月			9月			10月			11月		
日	プエルルス	稚エビ	日	プエルルス	稚エビ	日	プエルルス	稚エビ	日	プエルルス	稚エビ	日	プエルルス	稚エビ
2	0	0	6	1	1	3	0	0	1	0	0	5	0	0
9	0	0	12	0	0	10	0	0	8	0	0			
16	1	1	20	0	0	17	0	0	14	0	0			
23	0	0	27	0	0	24	0	0	22	0	0			
31	2	2							29	0	0			
計	3	3		1	1		0	0		0	0		0	0

早田

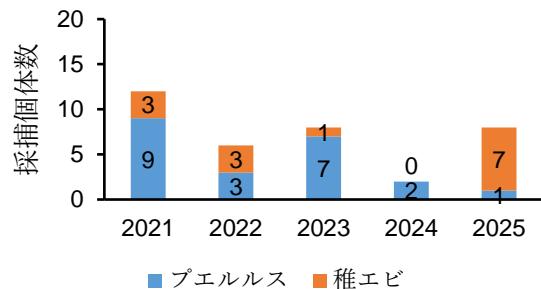


図7 早田浦における年別採捕数

三木浦

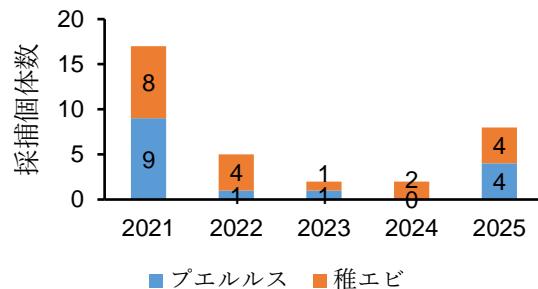


図8 三木浦における年別採捕数